

科目の目標	基礎基本、過去問対策		
履修学年	学年 3年	学科・コース	美術Ⅱ
単位数	単位 2単位	授業形態	3年美術選択者
教科書	日文 美Ⅱ	副教材等	なし
担当者	阿部 祐司		

1 学習の目標

- 教科をとおして困難に負けず、各進路の2次検査に対応する人格を育てる
- 基本形体、エスキース作成、作品制作、制作の意図の文をセットで学習する。過去問、体験。
- 各進路の配分を考慮して、+2hでの作品の完成を目指す
- 課外講習実施し、課題に対して臨機応変に対応できる力を身につけさせる
- 問題をよく読み(メモ含む)、構想文を書き、発想を増やし、選択展開できる訓練をさせる。

2 学習の留意点

- 各進路に向け、基本・応用・発展を適宜指導する。
- 過去問に隠れた出題者の意図を考させる。
- 実技の力も必要だが、学力の重要性を大切にさせる。
- 過去の指導のノウハウに沿って指示指導して行く。

3 評価の観点・函中コンピテンシー (育成を目指す資質・能力 ○は特にあてはまる項目)

評価の観点	評価規準	函中コンピテンシー				主な評価の場面
		傾聴力	思考力	協働力	先見力	
表現のしかた	発想・意欲・工夫・知識	○	○		○	発想・意欲・工夫・知識力
工夫のしかた	関心・意欲・想像・表現	○	○		○	関心・意欲・想像・表現力
創意のしかた	自己の表現・発展の可能	○	○	○	○	自己の表現・発展の可能性
鑑賞のしかた	他の表現・工夫を感じる	○	○	○	○	作者の努力工夫の享受

4 評価・評定

達成度	評価・評定
特に高い程度に達成	5
高い程度に達成	4
おおむね達成	3
やや不十分	2
不十分	1

5段階で評価します。  
 ・1年～前期末後に「評価」、学年末に1年間の「評定」がつきます。  
 ・3年生～定期考査後に「仮評定」、学年末に1年間の「評定」がつきます。  
 \*評定が1の場合、単位の修得は認められません。  
 \*観点別評価はA, B, Cの3段階で評価します。

5 授業計画

学期	月	章・節	配当時間	主な指導内容	考查・行事等	
前期	4	基本形と過去問 〃と発展、過去問	3	オリエンテーション 基本形から空間表現		
	5	基本形発展と実在過去問 基本形発展と実在過去問	6	基本形と静物4点の制作 〃		
	6	実在と発展過去問 実在と発展過去問	6	静物3～4点素描制作 〃	中間考查	
	7	基本形、実在 基本形、実在	3	想定作品制作と実在 〃	学校祭 夏期休業 〃	
	8	実在と過去問 実在と過去問	3	想定作品制作と実在		
	後期	9	〃	6	実在制作と想定	期末考查
		10	〃	6	〃	
		11	入試対策 〃	4	入試対応制作と実在制作 〃	後期考查
12		〃	4	入試対応制作 〃	冬期休業 〃	
1		入試対策 〃			新テスト	
2 3		〃				